

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 9 回 定例委員会
日時	平成26年9月26日 自 15時 至 16時40分
場所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫 委員 和野 幸夫
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 守 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主任主事 小坂 喜子
事務局職員	教育部 長 澤口 良彦 教育部 次長 荒物屋 貢一 学校教育課 長 木村 賀津彦 指導室 長 中川 恵介 第1学校給食共同調理場長 宮嶋 和久 総務企画課 長 斉藤 拓也 指導室 指導主事 河毛 幸至 学校教育課学務係長 高坂 博幸 総務企画課総務係長 下濱 辰哉 総務企画課総務係主任主事 小坂 喜子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時
2	会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3	会議録の承認
	（上原委員長） 第8回定例教育委員会（平成26年8月22日開催）の会議録について、何か御質疑がございますか。
	（一同「なし」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	本日は沼ノ端小学校、午後から美園小学校の視察をいただきありがとうございました。学校訪問の際に何点かお話をいただきましたが、他にもお気づきの点がありましたら御指摘をいただきたいと思います。
	今年の8月、9月は例年になく雨の多い天気が続きました。その後の9月11日、12日のゲリラ豪雨により特別警報、大規模な道路冠水、土砂崩れも経験したところでもあります。このときの対応につきましては別途報告をさせていただきます。
	中学校では9月18日から9月27日の学校祭シーズンを迎えております。小学校も修学旅行が一段落し、学芸会に向けての準備が始まったところでございます。
	先月8月22日の定例教育委員会以降の行事などではありますが、9月6日に第6回札幌親子しおさいコンサートが市民会館で開催されました。北海道新聞社、苫小牧民

報社、そして、苫小牧市が共催し、子どもたちに札幌交響楽団の一流の演奏を鑑賞してもらおう音楽教室であります。指揮の佐藤俊太郎先生から、苫小牧の子どもたちから音楽を聞こうとする気持ちが伝わってきて、とてもよい観客だったとお褒めの言葉をいただき大変嬉しく思っているところでございます。この事業の運営には、苫小牧市教育研究会音楽研究部会の反保校長外20名弱の先生にもお手伝いをいただいたところでございます。

次に、5日から19日の予定でありましたが、ゲリラ豪雨により24日まで延期になりました第17回定例会が開催されました。今回は岩倉市長3期目の最初の議会でもあり、市政に望む基本方針を述べ各会派代表の質疑がありました。項目は学校施設整備、給食アレルギー対応、カルチャーアートタウン、苫小牧芸術推進計画、旧はなその幼稚園、学力調査結果公表、学校統廃合、色覚検査、学校開放事業の暖房、教育委員会制度の改革、就学援助、給食センター民間委託などの項目がございました。内容については別途お示しをしたいと考えております。

次に、9月11日、12日のゲリラ豪雨の対応についてであります。基本的には「気象警報等による学校の緊急措置については、マニュアルを作成しており、その中

では、大雨警報、大雨・洪水警報、大雪警報については学校判断としておりました。11日午前5時23分に大雨警報が発表され、7時14分に樽前小、明德小、凌雲中、緑陵中に避難所開設の電話連絡が危機管理室から指導室に入り、錦岡小学校を加えた5校が臨時休業を決定し、また、一時登校待機していた啓明中学校が、校門前の冠水のため9時50分に臨時休業を決定しております。ほかに美園小学校、山なみ分校も臨時休業になっております。

7時40分に大雨洪水警報発表があり、8時15分に苫小牧市全域に大雨特別警報が発表されました。この時点では、児童生徒の登校行動も7時頃より始まっており、8時過ぎには登校を終了している学校もあり、雨の中を帰宅させることも困難なことから他の学校は通常登校の措置になりました。もちろん下校時には通学路の安全を確認後に下校をさせております。

<p>翌12日は、朝5時30分の時点で大雨洪水警報が発表され、前日からの雨もあり、</p>
<p>河川などの状況も含めて安全な通学路が確保できないとの判断で市内全小・中学校が</p>
<p>臨時休業することを確認したところでございます。結果の論議はありますが、それぞ</p>
<p>れの時点での限られた情報の中の判断であったと考えております。</p>
<p>これまでの対応を検証し、苫小牧市学校防災対応マニュアルの改訂を考えておりま</p>
<p>す。内容は、特別警報、大雨警報、大雨洪水警報発表時の対処のあり方、臨時休業の</p>
<p>周知の方法、河川の水位などを含め気象状況や災害警戒に関する情報収集など小・中</p>
<p>校長会と協議をすることとしております。</p>
<p>次に、中学生のピアノ転倒事故についてであります。アップライトピアノの移動</p>
<p>中の事故であり、前後の移動の際に危険回避のため両横から力を加えていたところ、</p>
<p>転倒しピアノの角などで負傷したものです。幸いに、生徒は翌日登校し、一人はピア</p>
<p>ノ伴奏を行い、足を怪我した生徒は着席してトランペット演奏をしたと報告を受けて</p>
<p>いるところでございます。いずれにしましても子どもたちの事故防止や安全確保の点</p>
<p>から注意喚起の文書を発出したところでございます。</p>
<p>10月8日から10日まで第56回全日本中学校長会北海道大会が開催をされます。</p>
<p>日本全国からの校長先生を歓迎すると同時に、大会が実り多いものになりますよう期</p>
<p>待しているところでございます。</p>
<p>本日は委員会の後、教育委員会点検評議員との意見交換会を開催する予定でありま</p>
<p>すので、よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>(上原委員長) 何か御質問等ございますか。</p>
<p>(佐藤守委員) 雨の関係でマニュアルを見直すということですがけれども、大体いつ頃</p>
<p>までに校長会と協議をして、いつ頃までに出す予定かだけお聞きしたいと思います。</p>
<p>(指導室長) 現在の予定ですがけれども、10月15日に第1回目の協議を開催する予</p>
<p>定で調整を進めているところでございます。素案に対して意見交換をして、その後、</p>
<p>調整の会議を何度か持ちながら、11月20日あたりを目途に新しく改訂されたマニ</p>
<p>ュアル、あるいは申合せ事項を運用開始したいと考えております。</p>

(上原委員長) 他にございませんか。
(一同「なし」の声)
5 議 案
第1号 平成26年度全国学力・学習状況調査結果の考察及び苫小牧市統一学力検査の結果と考察の公表について
(指導室長・指導主事) - 「平成26年度全国学力・学習状況調査結果の考察及び苫小牧市統一学力検査の結果と考察の公表について」の説明 -
(上原委員長) 質疑に付します。何かございませんか。
(佐藤守委員) 今年度から平均正答率を公開するということが大変見やすく良かったなど思っております。それと全国と苫小牧と両方を行っているわけですが、トータルに考えた総評になりますか。違いますよね。学年によっては違うと思いますが、苫小牧としての2つのテスト、検査を総合した総評みたいなものを2つ一緒に公表するのであれば、そういうのがあってもいいのかなと思います。
(指導室長) まず2つの調査・検査を合わせた総評ということでございましたけれども、それぞれ全国学力学習状況調査、それから統一学力検査は、検査、調査の質が違ってきますので、当然そういうところから出る結果、その結果から分析できるものということで変わってくる現状がありますので、なかなか2つ一緒にまとめた総評っていうことは難しいかと思えます。しかしながら、全国学力学習状況調査も統一学力検査も目的は、子供たちにどれぐらい基礎学力が定着しているか、そして、その結果を受けてどういうふうに教育委員会と学校が一体となって子どもたちに学力をみにつけていく必要があるかという指導に返すという部分が、その目的は共通していると

思いますので、となればやはりそれぞれ対象学年の教科によって、どういう指導をしていったらいいのか、どこに課題があるのかという分析をすることが、この調査、検査を行う目的を達成する一番重要な手だてだと思いますので、そういったところで今回もこういう分析をさせていただきながら、学校に対しても教育委員会として働きかけていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(上原委員長) よろしいですか。他にどうでしょうか。私のほうから1点。児童の保護者にも、これは連絡される訳ですよ。その見方といいますか、解釈の仕方といいますか、その保護者によっては取り方がいろいろじゃないかと思うんですよ。それでこの結果等について、保護者に学校の方でいろいろ工夫をされて、いろいろな機会を作って、こういう通知について御説明申し上げます、というふうにするのか。あるいは別の方法が考えられるのか、それとも保護者に、こういう結果が出ましたということを送るだけで終わらせるのか。そこらへんの考え方についてお聞きしたいんです。

(指導室長) 今回の資料として、教育委員会から各家庭に送る保護者向けの文書を付けさせていただきました。それと同時に本会議で御承認いただきました後に、各学校から自分の学校の課題、それと本州の平均や全国平均、全道平均と比較してのという部分も、今後、出していただくことになるんですけども、今学期の学期末を迎えながら学校では参観日、懇談会がありますので、学年懇談会、学級懇談会の折に今回の調査、検査の結果でどういう傾向が学校で出ているか、あるいは学校としてどういう手だてを今後講じていこうとしているのかということを一かつ話題にさせていただこうというふうに考えているところであります。

(上原委員長) わかりました。他にございますか。それでは他にないようですので原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

第2号 平成26年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について

第3号 教育委員会職員の処分について（諮問・報告）

（上原委員長） 次に、議案第2号、第3号に関しては人事案件等でございますので教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（一同「はい」の声）

－協議の結果どおり決定－

## 6 協 議

（上原委員長） 次に、協議事項お持ちの方いらっしゃいますか。

（一同「なし」の声）

## 7 そ の 他

（1）平成25年度苫小牧市学校給食会決算書について

（第1学校給食共同調理場長） -「平成25年度苫小牧市学校給食会決算書について」の説明-

（上原委員長） 質疑に付します。

<p>(佐藤守委員) 差引残高が例年より多いような気がするんですけど、その理由が1</p>
<p>つ聞きたいのとですね、アレルギー対策を27年度から進めていくということなんです</p>
<p>ですけど、どのような計画で進めていくのか、わかる範囲で結構なんですけれども、</p>
<p>教えていただきたいと思います。その中で、食器も給食センターで、きれいに洗うと</p>
<p>思うんですけど、アレルギーの子は、ちょっとだけ残っていてもアレルギーになる</p>
<p>というのを聞いたことがあるので、その辺の食器対策もどのようにするのかお聞きし</p>
<p>たいのと、給食アンケートを多分今年度も採られたと思うんですけども、その中で</p>
<p>給食を残す理由として、時間が足りないというアンケートがあったような気がするん</p>
<p>ですけども、給食の時間帯については、アンケートに基づいて変える考えがあるの</p>
<p>かどうか。それから給食費を上げて、今回も消費税の分で上がったと思うんですけれ</p>
<p>ども、このアンケートなんか見ると、4月から献立が変わりましたかについて、変</p>
<p>わってないというイメージを持っている子供たちが多いのと、それから、量も変わら</p>
<p>ないというような感想を持っている子供たちが多いようにアンケートに出てたと思う</p>
<p>んですけど、その辺をお聞きしたいと思います。</p>
<p>(第1学校給食共同調理場長) 繰越金の額が2900万円ということで、かなり多く</p>
<p>なっているというお話なんですけれど、収納率が、かなり上がったということもあり</p>
<p>まして、昨年、当初から収納率が高いという形で支出していくわけにはいかないもの</p>
<p>ですから、それは、昨年の収納率が大体多いなということが、昨年の暮れあたりぐら</p>
<p>いに確定してわかってきてますので、それからメニューを増やすということになりま</p>
<p>しても残り3カ月ぐらいで増やすというのは、なかなか難しいということに。献立を</p>
<p>立てるのも3カ月前から入ってきますので、なかなかそれを使い切るということは難</p>
<p>しいということで、それがこういった形で残ってきたということで御理解いただきた</p>
<p>いと思います。それとアレルギー対策のことなんですけれども、アレルギー対策につ</p>
<p>いては、来年度モデル校を設定して取組をしていきたいということで、そのモデル校</p>
<p>を設定するにあたって卵アレルギーについてだけを対象として、今検討しています。</p>
<p>各学校で卵アレルギーがどれぐらいいるかというのを調査をしております、そ</p>

れを基にして、どこの学校を指定していくのかということ、これから検討していきたいということで作業が動いております。来年度、モデル校の設定をして1校になるかもしれませんが、そういう中で、来年、再来年とモデル校がある程度、数を増やした中で、3年目の平成29年には、全市的な対応をしたいというふうに考えております。

その中で、食器の対応というお話がされていましたが、それで今検討しているのは、こういった形で出すのがいいのか。卵アレルギーということになれば除去食ということになってきたときに、個別で個人個人で入れ物に入れて出したほうがいいのか。学校である程度の人数がいれば、人数分で分けたほうがいいのか。学校の人数や、対応の仕方などが変わってきますので、その辺を今どういう形で配ったらよいかということで、入れ物等についても検討しております。

それとアンケートを行ったということなんですけれども、平成25年度から給食費の値上げをさせていただいて、量、質ともに改善しましたということで、私ども給食調理場といたしましては、まず、給食の献立につきましては、デザート類の増加ですとか袋物といってソース類・醤油類・小魚類など、そういうものの回数をかなり増やしてきています。それと給食の質ということについては、今まで高くて使えなかったような食材を使っていくとか、そういうのを入れて給食に対してボリュームを持たせるだとかというふうなことで、質のほうの改善はしてきている認識でございます。学校の子どもたちについては、質の上昇、アップというのは、なかなか理解してもらえないのかなというのはあるんですけれども、私どもとしては質の向上ということで対応している考えでおります。

時間については、学校現場のほうでということになります。

(佐藤守委員) 時間については、次回で結構です。調査するというので、調査するときにアレルギー検査は、子供の頃3歳児に検査してその結果を持っていて、この子はそうだよというようにしている親が、結構いるらしいので、直近にもう一度ちゃんと先生に検査をしてもらって、最新のデータで多分やられたほうがいいのかなと思います。

ますので、その辺よろしくお願いします。

(第1学校給食共同調理場長) それで実際にアレルギー対応の給食を出すということになると、やはりお医者さんの診断書をつけた形で出さないと、大変危険ということもありますので、それはきちんと仕組みを作った中ですね、対応したいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(佐藤郁子委員) アレルギーに関してなんですが、今、卵アレルギーということに限定していらっしゃるようなんですけれど、食べ物のアレルギーが、非常に多くなってきていますので、特にアナフィラキシーの蕎麦とかですね、命にかかわるようなものの調査というのも是非お願いしたいということと、果物のアレルギーが増えてきているみたいなので、給食の献立にあまり出ないかもしれないですけど、どんなアレルギーがあるのかという調査を少し広げてやっていただきたいと思います。

(第1学校給食共同調理場長) 蕎麦のアレルギーということを気にされてましたけれど、給食に蕎麦は一切出してないということと、アレルギーのあるものとして蕎麦もそうなんですけど、ピーナッツもかなり症状が激しくなるというようなことで、今の給食でピーナッツも出さないようになっております。その辺は他のもので代替できるものは、代替するという対応をしております。果物については生のものは、ミカンとミニトマトで、生で出せる施設がなかなか整ってないものですから、生で出せるのは、その2種類だけなんですけれども、先日、アレルギーの関係で、リンゴのアレルギーを給食のデザートで出したということで、その辺は、いろいろ情報を得ながらですね、対応していきたいと思います。

(佐藤郁子委員) よろしくお願いします。

(上原委員長) 他にございますか。それではないようですので、(1)につきましては質疑を終結いたします。

(2)平成26年度教科用図書採択に係る文書の公表の方法について

(学校教育課長) - 「平成26年度教科用図書採択に係る文書の公表の方法について」の 説明-
(上原委員長) 質疑に付します。
(佐藤守委員) 確認なんですけれど、法律的に変わったわけではなくて、解釈の方法 がそういう形だという詳細に示したというだけでしょうか。
(学校教育課長) 今回、教科書の図書の無償の措置に対する法律の一部が改正になっ て、今年度から採択者、たとえば私ども市教委は、採択の結果の公表に努めなさいと いうことになったということなんです。ただし、私どもは、従来から採択結果は、 ホームページで公表してましたし、議事録も精査して完成し、承認を得た時点で公表 し、従来から努めてたということはしておりました。そして、実際には情報公開条例 に基づいて、他の資料等の要求があれば、もちろん提供していたんですけれども、開 示請求のやり方自体は、公表というふうな解釈には当たらないということで、道教委 が文科省に確認までしたということで、急遽通知があったものですから、それに準じ た形で、なるべく負担をかけない形で公表しましょうということで、備えつけて希望 があれば交付したい、もちろんホームページでも従来通りのものは公表はしてます。 そういうふうな経過がありました。
(上原委員長) 他にございますか。
(佐藤郁子委員) 採択終了後の当該教育委員会会議録作成後とするというのは、この 会議が終わった後ということで解釈してよろしいですか。
(学校教育課長) はい。今まで合わせていたんですけれども、時間が結構経過するも のですから、8月22日に採択されて、今回のこの委員会までの間まで時間がかかる ものですから、今回からは準備が整った書類については、早く公表しましょう、会議 録とか承認が必要なものについては、それができた時点で公表しましょうとそういう ふうな形で弾力的にしました。
(佐藤郁子委員) ありがとうございます。

